

## 太田市立太田高等学校アメリカ研修 11 日目 (3/13)

ついにアメリカ研修最終日となりました。最後の訪問先は SIA(Subaru of Indiana Automotive)です。工場見学の前に、案内を英語か日本語かどちらで聞きたいかと尋ねられ、多くはきちんと理解できるように日本語を選択しましたが、せっかくだから挑戦したいと通訳なしの案内を選んだ生徒もいました。案内役のアリーさん、通訳のニッキーさんによる解説は非常にわかりやすくユーモアに溢れており、一時間半の時間があっという間に過ぎました。車両製造の工程を間近で見させていただきましたが、ちょうど新しい車の製造を進めているところと言うことで一部立ち入りが禁止されており、今後の発表が楽しみになりました。工場内の掲示板には従業員の方の家族の写真が掲示されていたり、自由に意見を出せる場所にはメモが多く貼られていて、こういったところもアメリカならではの感じました。広大な敷地には託児所や病院、ジムも備えられていて、働きやすい環境が整っていることに生徒も感心しきり。昨年 30 周年を迎えた SIA では 30 年勤続した方の記念写真があり、仕事へのやりがいもあると思いますがこういった待遇も一つの理由ではないかと思われました。工場見学の後には副社長のスコットさんより SIA についてのご説明があり、年々アメリカでの SUBARU 車のシェアが増えていること、新しい車種の発表により車の出荷数や従業員数が増加してきていることなどスライドを使ってお話いただきました。説明の最後には、車業界、製造業は楽しいから将来お待ちしておりますとのお誘いもあり、皆笑顔に。

その後、日本からの駐在員 3 名の方との座談会となりました。なぜ SUBARU で働いているのか？大学の専攻は？と言う話しから始まり、アメリカの生活や英語での苦労話などは興味深く、生徒たちもアメリカに来てから感じたことを共有していました。アメリカではまず家族との時間を大切にしているということは皆さんが仰ることであり、文化や生活の違いについての具体的なエピソードには驚きを持って聞いていました。

話しはなかなか尽きませんが残念ながら時間となり、それぞれのテーブルから一人ずつ生徒が感想を述べました。昨日訪れた富士部品、東亜工業の仕事がここで繋がった、自分の中での疑問が解消されるとラフィエットでの研修の集大成となる訪問になったことへの感謝、そしてアメリカに来て得たことを今後日本に持ち帰り周りの人にも伝えて行く、しっかり行動を起こしていくと言う宣言もありました。

昼食も社員の方と食堂で頂き、先ほどの続きと言わんばかりに将来の相談や、疑問をぶつけていました。帰りがけ、アメリカでの経験を是非今後役に立ててとのメッセージを頂き、皆心に刻みました。アメリカで多くの方々から頂いた言葉を胸に、日本へ帰りたと思います。



スコットさんによる SIA 説明



座談会①



座談会②



座談会③



生徒からの御礼の挨拶



社員食堂でのランチ